

「地域未来構想20オープンラボ」への掲載について

「地域未来構想20オープンラボ」では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、地域で取り組むことが期待される20の政策分野を推進するものとなります。関心のある自治体・企業・所管する府省庁が連携し、それぞれが提供可能な技術・ノウハウを登録、各分野の中でアライアンスを構築する機会創出を目的としたものです。

当社の「DEEP EYES」は「鶏舎を自動巡回するロボット」であり、採卵鶏舎内をロボットが自律走行巡回し、搭載しているセンサーとAIで死亡鶏を早期発見し採卵効率（腐敗卵流出防止）をアップするシステムとなっております。また、鳥インフルエンザの早期発見にも役立つことが想定されており、大量死亡の場合はアラートを関係各所に急報することも可能で、わが国に食の安全にも効果を発揮させることが期待されます。

当社の提案内容は8月28日に配布された資料の「農林水産の分野（表紙が緑色）」の59ページの上段に掲載されております。（添付2）

スマート農業、スマート畜産を目指されている自治体や所管する府省庁の皆様からのお問い合わせをお待ちしております。

※「地域未来構想20オープンラボ 専門家カタログ-地方創生に向けた新しいパートナーシップの形成-III.新たな付加価値を生み出す消費・投資の促進」

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/miraikousou20_openlabo/labo_senmonka.html

プロトタイプの動画はこちらから https://www.taihos.co.jp/business_newinitiatives.html

お問い合わせ先： 営業本部 寺奥（テラオク）

メールアドレス： shiboukei@taihos.co.jp